

No. 1393

'80にっぽん

今年最初に我が国を訪れたのは日中友好の動物親善大使ジャイアント・パンダの「ホアンホアン」。ランランの急死で独りぼっちになっていたカンカンの新しい花嫁だ。5月27日には華国鋒首相が羽田着の特別機で来日。中国の首相が来日したのは長い日中関係史上初めてのことで、両国の関係は一層緊密になった。戦前の日本政府の国策に従い、中国に渡り、以来38年ぶりに祖国の土を踏んだのは金子ふみさんだ。元共産党政治局員伊藤律氏も30年ぶりに帰国。伊藤氏は「生きて故国の土を踏むことが出来、この喜びはまことは無量なものがあります」と語った。春うららかな3月末、あんなに元気はつらつとしていた大平首相。それから約3カ月後の6月12日、大平首相は急性心不全で東京虎の門病院で急死した。激動する内外情勢のなか志半ばで死去した大平首相まだ70才という若さただけにその死が惜しまれた。昭和53年、第68代目の首相になった大平氏、体だけがとりえだといっていたただけに。今年は大洋州歴訪、5月にはアメリカ、メキシコ、カナダの3カ国を訪問するなど精力的に首脳外交をこなし、国内においても5月16日大平内閣不信任案が可決されると衆議院を解散、史上初の衆参同時選挙と意思的であった。しかし選挙遊説中突然おそって来た病魔に倒れたのであった。6月22日行われた衆参同時選挙は大平首相に同情票が集ったのか、自民党が衆院選で安定多数を越える284議席を獲得、参院選でも69と議席をのばし大勝した。

7月17日召集された特別国会で鈴木善行氏が第70代首相に指名された。鈴木新首相はただちに組閣第一次鈴木内閣をスタートさせた。今年も暑い夏の季節、憲法論議が高まった。鈴木首相の所信表明演説で物議をかもしだしたのが憲法の解釈のしかたであった。

富士山は今年が60年に一度の「御縁年」、一度登れば33回分の御利益があるという。しかし御利益どころかシーズン真最中の8月14日、大落石で12人が死亡した。16日には静岡市の地下街で都市ガスによるガス爆発が発生、死者14、重軽傷者199人を出す大惨事となった。

栃木県鬼怒川川治温泉ではホテルが全焼、泊り客112人のうち45人が焼死した。ホテルの火災に対する設備が改めて問い直される事故であった、プロ野球界ではミスタージャイアンツ・長嶋監督が3年連続優勝を逃した責任をとって辞任。それと呼応するかのよう巨人王選手、西武野村選手、中日高木選手のベテラン3人が相次いで引退。ドラフト一位で巨人に指名された原選手にONの後が継げるかどうか。

いつ起きるやも知れない東海沖地震にそなえて庶民はこの一年、訓練、訓練。名古屋新幹線騒音訴訟も完全に敗訴、まだまだ当分騒音と震動に悩まされそう。全女性をふるえ上がらせたのは埼玉県所沢市にある富士見産婦人科病院。せめて明るくというわけではないだろうがカラオケが大はやりの一年でした。ただいま国の人口は11714万人、来年は酉年あなたにも幸運が訪れますように。